



IIxil ラシッサ 上吊連動引戸 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

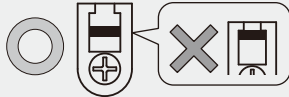
■守っていただきたいこと

▲注意 …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



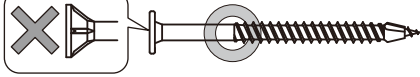
●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。



保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉に支障きたすので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープは表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置き of 長期保管はソリ・ねじれとなるので、寝かせた状態にしてください。
- 本体損傷防止のため、建築工事中は、施工後に吊込むことをおすすめします。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

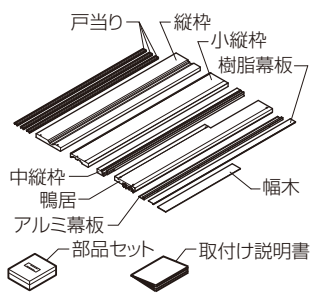
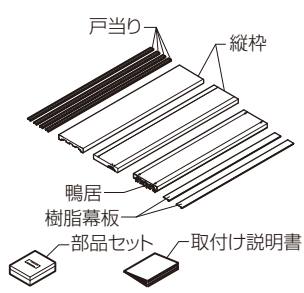
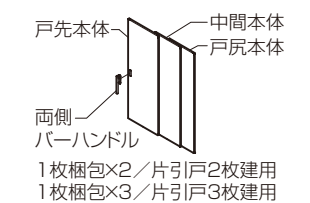
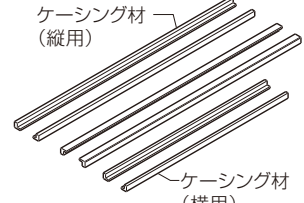
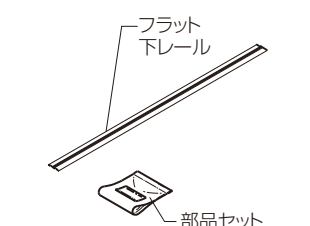
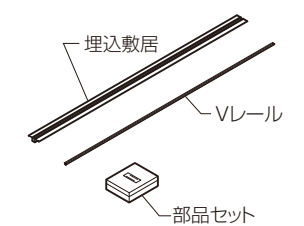
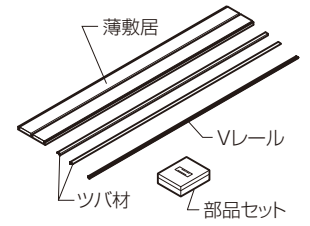
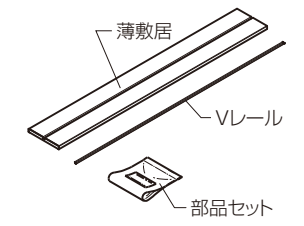
No.	チェック内容	
1	吊車を枠組立て時にレールに正しい向きで入れましたか？	☐
2	枠取付け後に全ての受け金具を緩みなく正しいねじで固定しましたか？ 	☐
3	吊車を最後(レバーが下がる)まで押し込みましたか？	☐
4	連動機構は正常に作動しますか？	☐



このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

片引2枚	3枚引戸
	
引戸連動本体	ケーシング材セット (ケーシングタイプのみ)
	
フラット下レール	埋込敷居
	
ツバ付薄鴨居	ツバなし薄鴨居
	

1 開口部の作り方

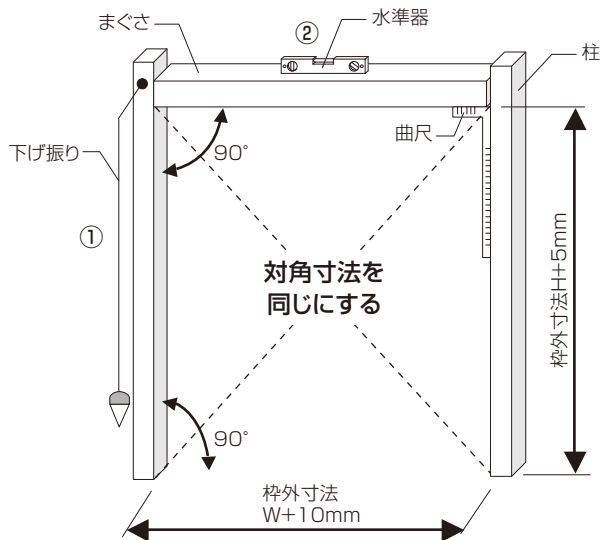
開口施工上のお願い

- 製品不具合となるので、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 躯体の強度不足は、垂下りとなるので、本体40kg/枚の強度を確保してください。
- 片引戸の小壁は枠を取付けてから施工してください。

【軽量鉄骨に施工する場合】

同梱のねじを使用しないと開閉不良になります。
軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

- ①開口は、枠外寸法に対して高さ：+5mm、幅：+10mmとしてください。
- ②開口は必ず、水平垂直にしてください。



■対応壁厚について

(単位：mm)

ノンケーシング	見込み	対応壁厚
	NC156	116～130
	NC171	131～145
	NC180	146～160

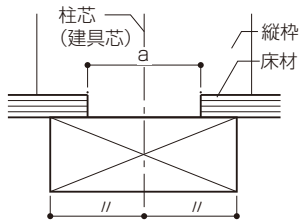
ケーシング付	品種	足長さ	対応壁厚
	片引2枚	8	157～167
		14	168～179
		19	180～187
		25	188～198
	3枚引戸	8	150～160
		14	161～172
		19	173～180
		25	181～191

2 床の張り方

■ツバ付薄敷居／埋込敷居

①床材を、下記寸法に合わせてすき間をあけて張ってください。

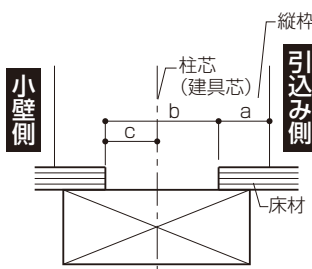
●3枚引戸



(単位:mm)

a寸法	
ツバ付薄敷居	埋込敷居
141	30

●片引2枚



■ツバ付薄敷居 (単位:mm)

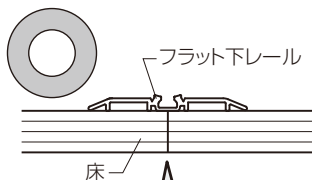
枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
NC156	6.5	143	71.5
NC171	21.5	143	79
NC180	6.5	151	67.5
C付	11.5	143	74

■埋込敷居 (単位:mm)

枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
NC156	63	30	15
NC171	78	30	22.5
NC180	67	30	7
C付	68	30	17.5

■フラット下レール

①床材は段差なく、すき間なく張ってください。

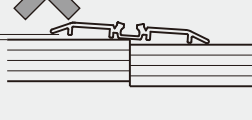


✕ すき間



すき間・空間

✕ 段差



床面の凹凸

※作動不良の原因となります。

3 枠部品セット

■枠用部品セット

		片引2枚	3枚引戸
縦枠組立て用 皿小ねじM4×50		4	4
鴨居・受け金具取付け用 低頭2条ねじφ4×50		14	13
縦枠取付け用 DNねじφ3.8×50		6	6
吊車		3	5
吊車 (ソフトモーション付)		1	1
ソフトモーション 受け金具		2	2
幕板取付け用 なべタッピンねじφ4×20		4	—
連動固定金具		1	—
連結固定金具取付け用 なべタッピンねじφ4×20		2	—
L型ガイド(キャップ付)		1	2
L型ガイド取付け用 皿タッピンねじφ4×16		3	6
キャッチ		—	1

■ツバなし薄敷居用部品セット

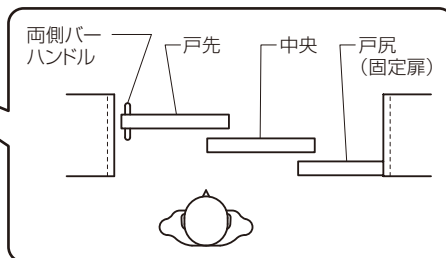
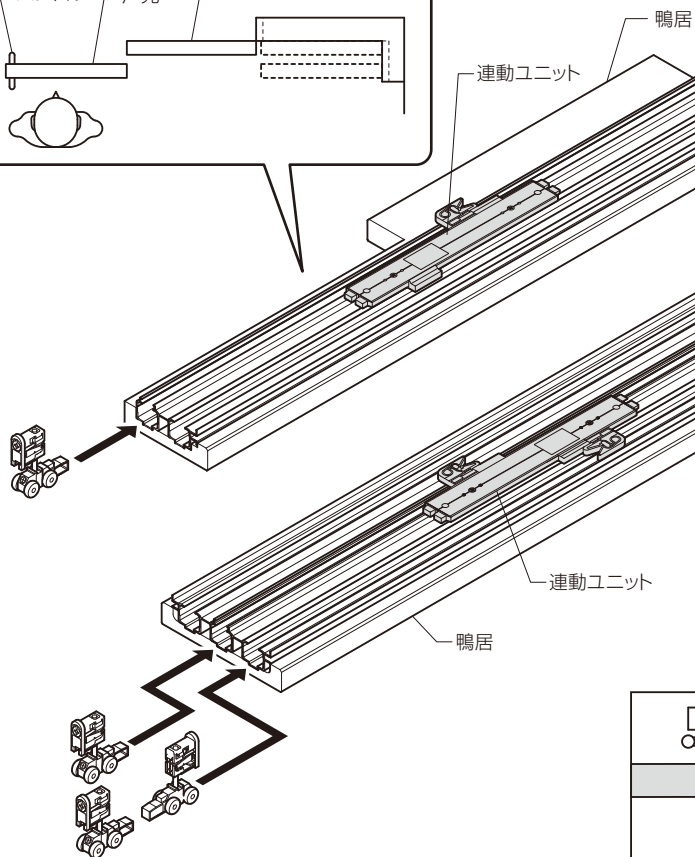
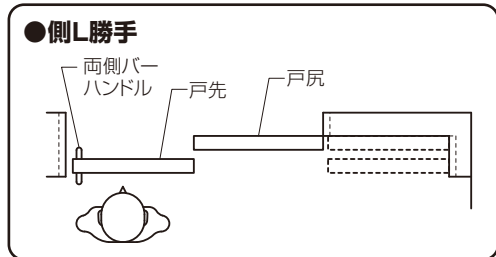
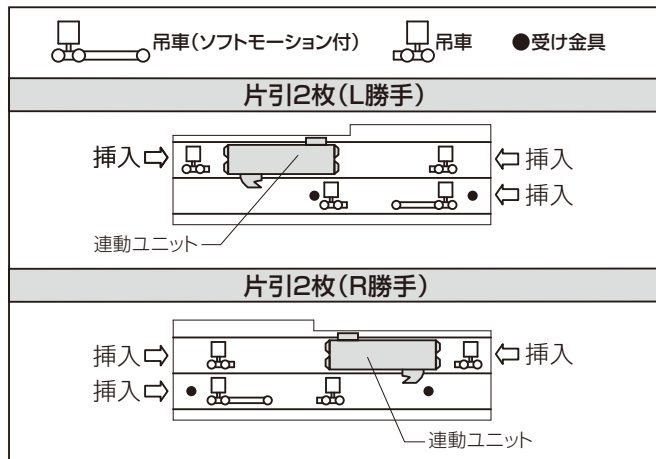
	片引2枚	3枚引戸
組立て用皿小ねじM4×50	5	5本(1本余り)
薄敷居取付け用ねじφ3.3×30	6	6

4 枠の組立て(吊車の挿入)

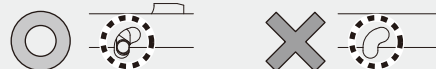
枠組立て上のお願ひ

- 施工は、製品脱落・枠の垂下がり・ゆがみとなるので同梱のねじを使用してください。
- 本体吊込みができなくなるので、枠組立て前に吊車をレールに挿入してください。
- 吊込み不可、作動不良になるので、吊車は指定の向き、位置から挿入してください。

①鴨居レールに吊車を指定の向き、位置で挿入してください。

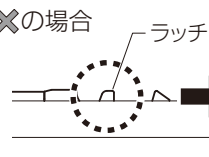


●吊車の挿入前確認(ソフトモーション付)



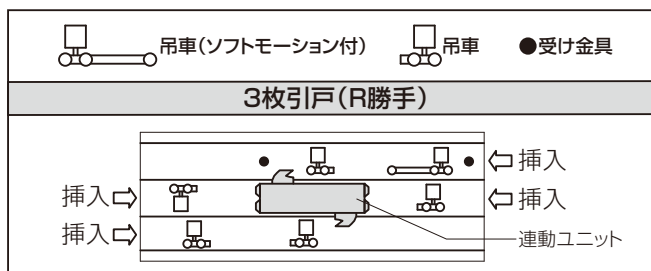
ラッチが見える

※ × の場合



ラッチを引っ張り正常位置へ戻す。

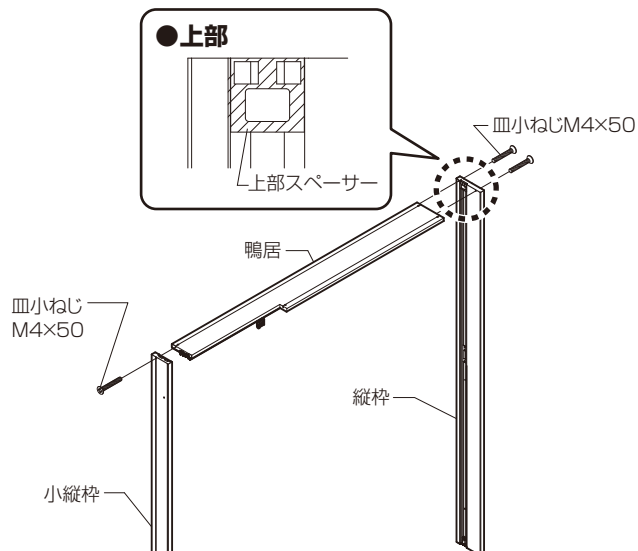
※作業しやすいように鴨居レールは天地逆にしています。



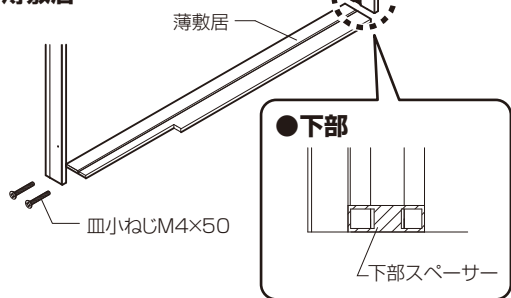
目枠の組立て

- ①下図のように同梱のねじで枠を組立ててください。
 ※吊車は枠組立て前に必ず挿入してください。
 ※片引2枚の中縦枠は枠付け後に取付けます。

●片引2枚／片引3枚



●ツバなし薄敷居



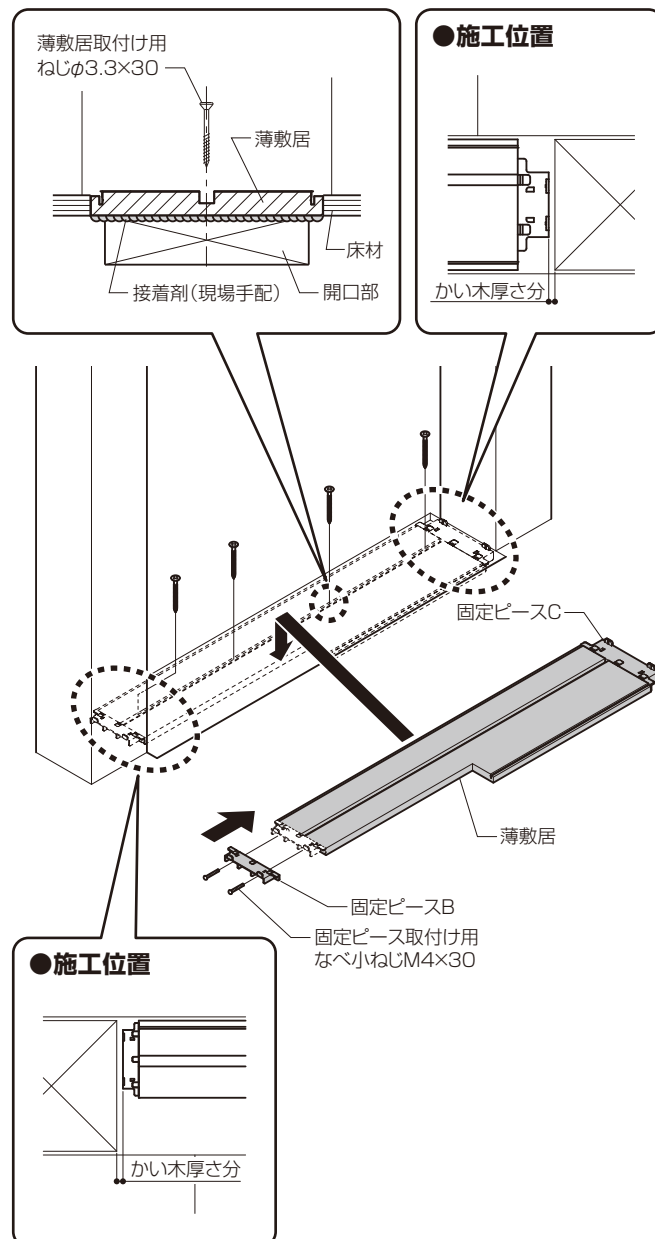
※図はL勝手

6 ツバ付薄敷居の施工

- ①敷居に固定ピースを取付けしてください。
 ②指定の位置に敷居裏面に接着剤(現地手配)を塗布して取付けしてください。

■ツバ付薄敷居用部品セット

		片引2枚	3枚引戸
固定ピースB		1	—
固定ピースC		1	2
戸じゃくり1本用ピース		1	1
戸じゃくり2本用ピース		1	—
戸じゃくり3本用ピース		—	1
固定ピース取付け用 なべ小ねじM4×30		4	4
薄敷居取付け用ねじφ3.3×30		12 (6本余り)	6



枠取付け上のお願い

- 製品脱落・開閉不良になるので、必ず同梱の指定ねじを使用してください。
- コンクリートやモルタルに直付けする場合は設置面に、防水処理をしてください。
- 枠は必ず水平垂直に取付けしてください。
- 枠と躯体の間に、かい木の表裏に接着剤(※)を塗布してねじ固定部に入れてください。
- 本体作動不良になるので、鴨居固定ねじは締めすぎないでください。
- 枠固定時、ソフトモーションを機能させるため、吊車は受け金具の中間に入れてください。
- 受け金具は緩み防止のため、鴨居固定後に固定してください。

※現場手配

※現場手配

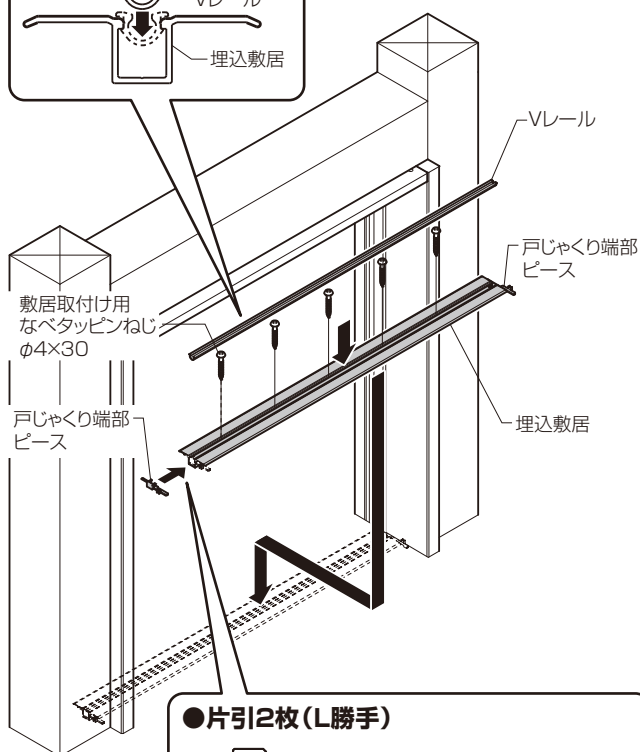
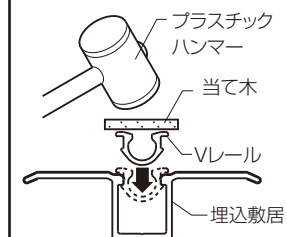
8 床部の施工(埋込敷居)

- ①埋込敷居に戸じゃくり端部ピースをはめてください。
- ②縦枠の戸じゃくりに合わせて埋込敷居を入れて固定してください。
- ③下レールに当て木をあててプラスチックハンマー等でたたき込んでください。

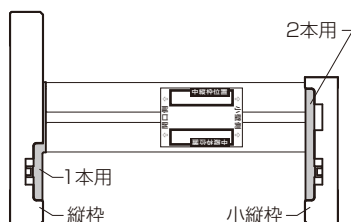
■埋込敷居用部品セット

		片引2枚	3枚引戸
戸じゃくり1本用端部ピース		1個	1個
戸じゃくり2本用端部ピース		1個	—
戸じゃくり3本用端部ピース		—	1個
中縦枠下部スペーサー		1個	—
敷居取付け用 なべタッピンねじφ4×30		5本	5本

●下レールの固定



●片引2枚(L勝手)



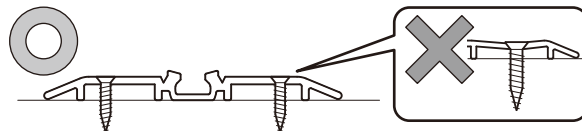
埋込敷居／フラット下レール共通

9 床部の施工(フラット下レール)

- ①フラット下レールに戸じゃくり端部ピースをはめてください。
- ②縦枠の戸じゃくりに合わせてフラット下レールを入れて固定してください。

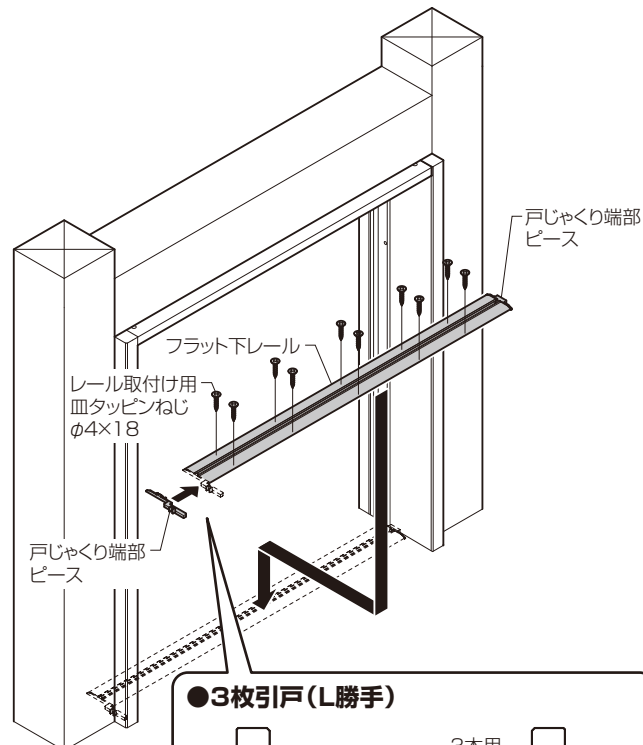
フラット下レール施工上のお願い

- 開閉不良になるので、固定ねじを締めすぎないでください。

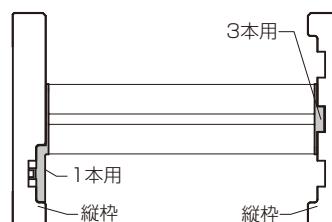


■フラット下レール用部品セット

		片引2枚	3枚引戸
戸じゃくり1本用端部ピース		1個	1個
戸じゃくり2本用端部ピース		1個	—
戸じゃくり3本用端部ピース		—	1個
中縦枠下部スペーサー		1個	—
レール取付け用 皿タッピンねじφ4(D6)×18		16本	16本



●3枚引戸(L勝手)

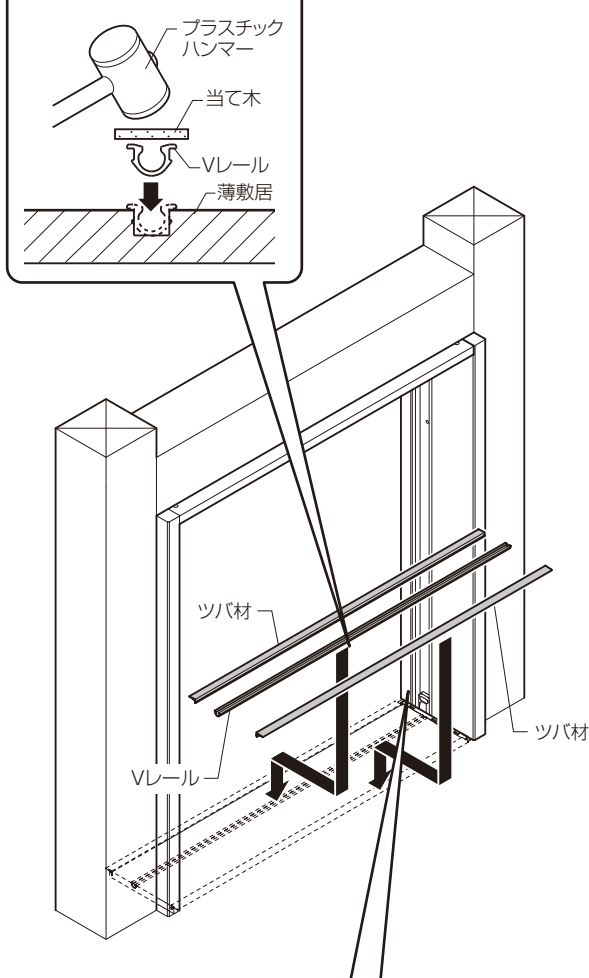


埋込敷居／フラット下レール共通

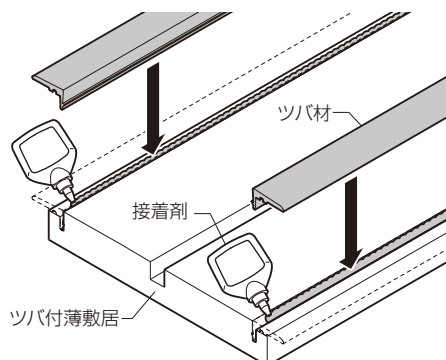
④床部の施工(ツバ付き・ツバなし薄敷居)

- ①敷居溝に全面に接着剤(現地手配)を塗布してツバ材をはめ込んでください。(ツバ付き薄敷居のみ)
- ②Vレールに当て木をあててプラスチックハンマー等でたたき込んでください。

●Vレールの固定



●ツバ材の固定(ツバ付き薄敷居のみ)

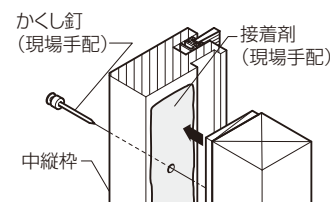


⑤中縦枠(片引2枚のみ)、戸当りの取付け

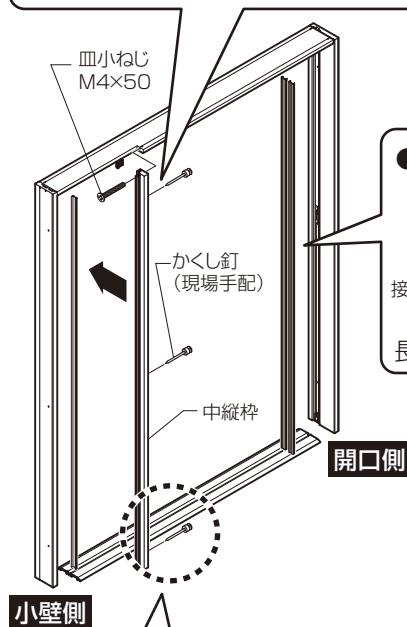
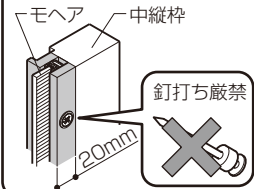
- ①中縦枠を指定のねじで上枠に固定してください。
- ②中縦枠は接着剤(※)を塗布して、かくし釘(※)で固定してください。位置出しラベルに合わせて下部スペーサーを入れてください。(埋込敷居/フラット下レールの場合)
- ③戸当りの長さを合わせてカットし、接着剤(※)を塗布して、枠に取付けてください。

※現場手配

●中縦枠の固定(片引戸のみ)



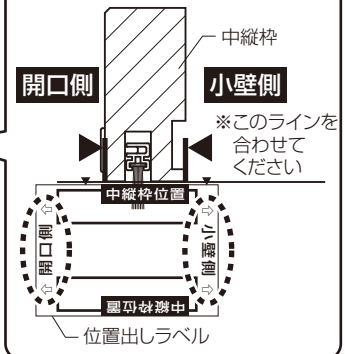
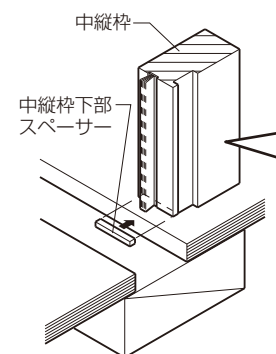
●固定の注意点



●戸当り



●中縦枠の下部について

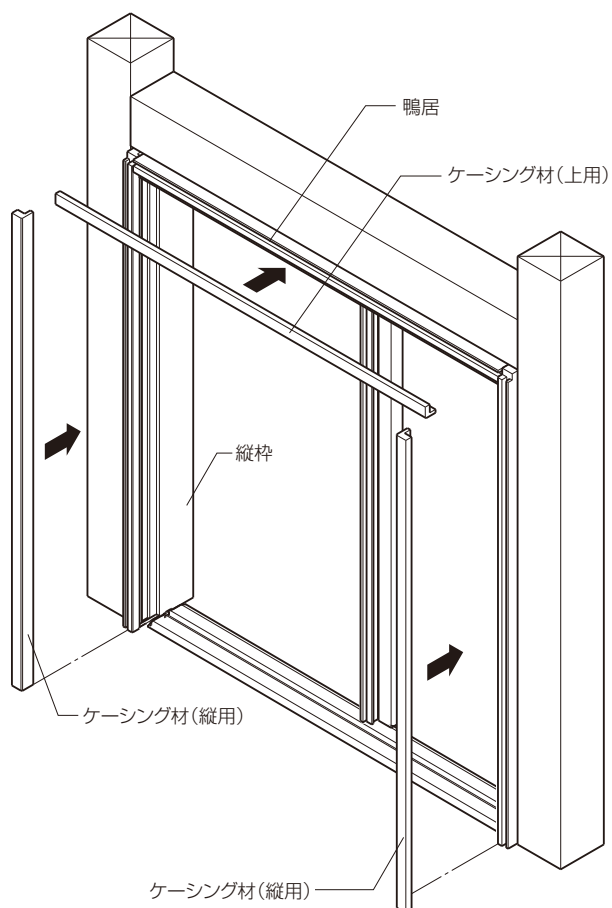


図ケーシングの取付け

ケーシング取付け上のお願ひ

●壁材・床材を仕上げてから取付けてください。

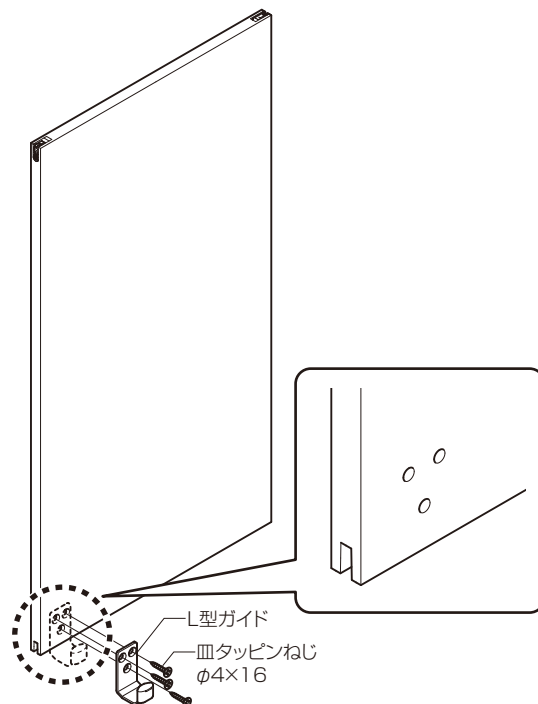
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。



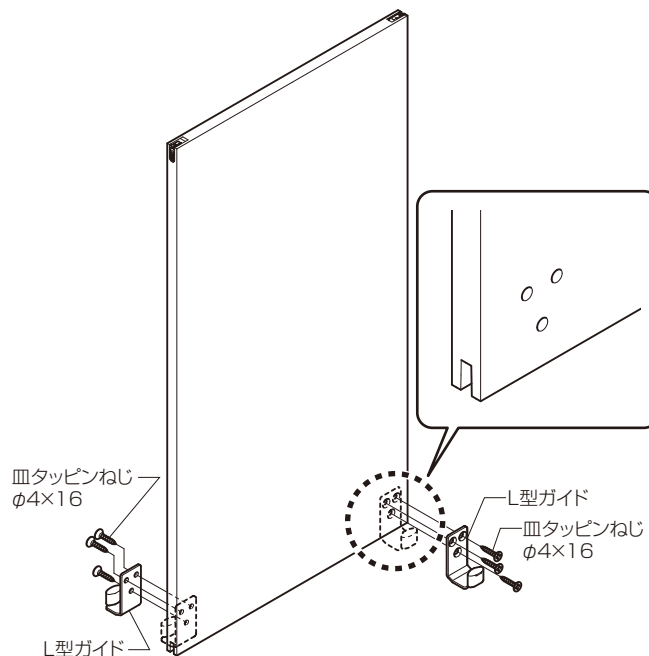
図本体への部品取付け(吊込み前)

①下記の本体の下部字ガイドを取付けてください。

●片引2枚 戸尻側本体



●3枚引戸 中間本体

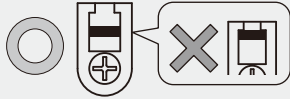


Ⅳ 本体の吊込み (L字ガイド付本体)

▲ 注 意



●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。



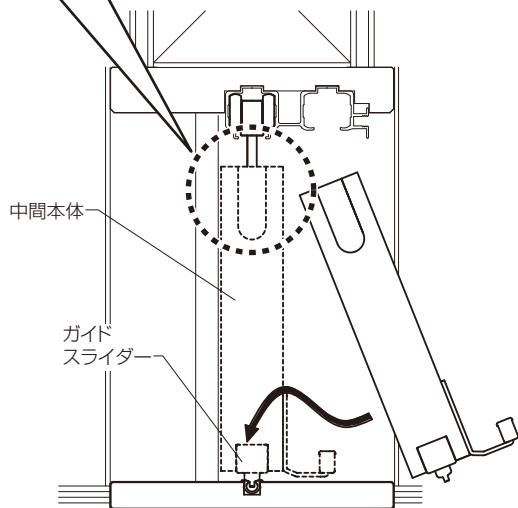
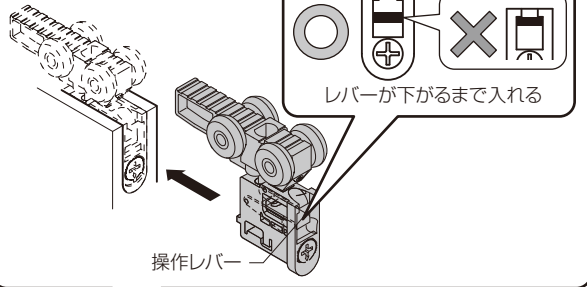
本体吊込み上のお願い(L字ガイド付本体)

●開閉不具合になるのでレールの汚れ、ゴミを取り除いてください。



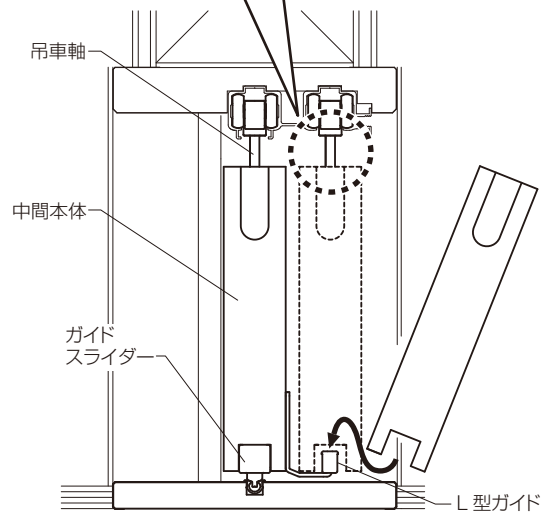
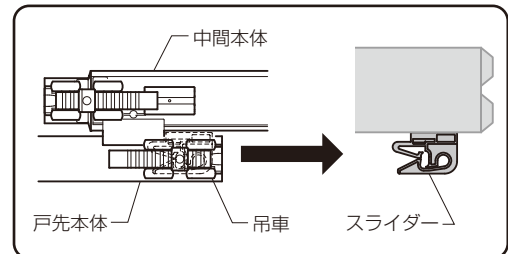
①本体を下レールにはめてから、持ち上げて吊車を最後まで入れ込んでください。

●吊車の取付け

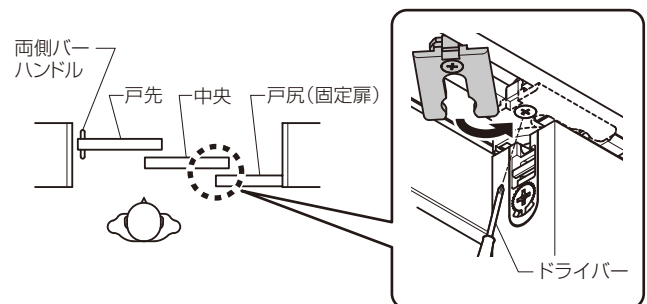


Ⅴ 本体の吊込み (戸先・固定本体)

- ①L字ガイドに本体下部溝にはめてから、吊車に取付けてください。
- ②連動ユニットの-sliderに吊車の軸をはめ込んでください。
- ③固定扉の吊車をキャッチ部品で固定してください。(3枚引戸)

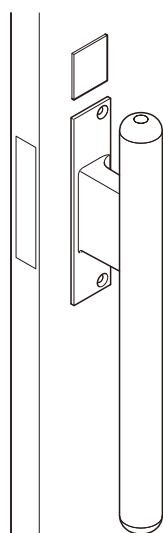
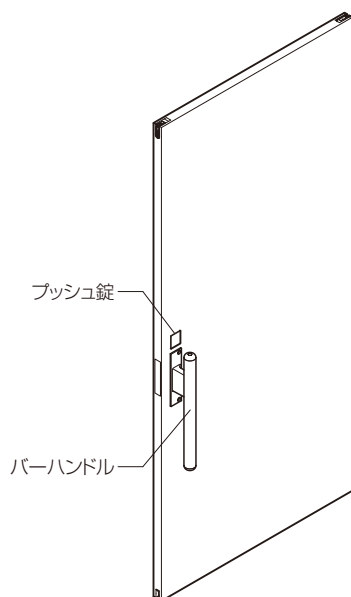


●キャッチ部品 (3枚引戸)



16 プッシュ錠・バーハンドルの取付け

錠・バーハンドルの取付け説明書を参照してください。

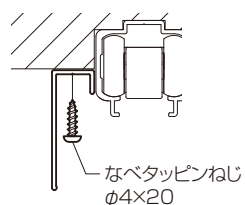


17 幕板の取付け

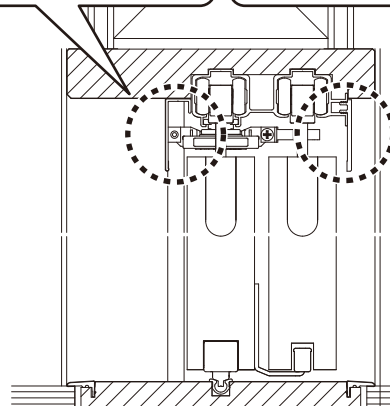
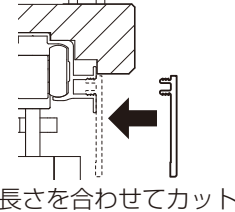
- ①アルミ幕板を指定のねじで固定してください。
- ②樹脂幕板を現場寸法に合わせてカットしてはめ込んでください。

●片引2枚

●アルミ幕板

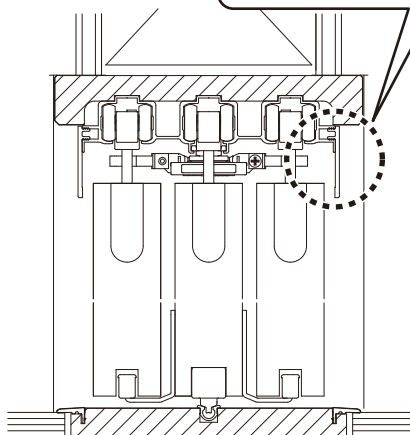
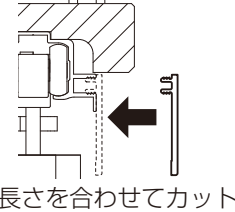


●樹脂幕板



●3枚引戸

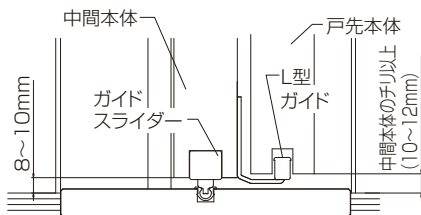
●樹脂幕板



18 本体側の調整について

本体調整上のお願い

- 開閉不良になるので、L型ガイドと本体底面が干渉しない位置に調整してください。



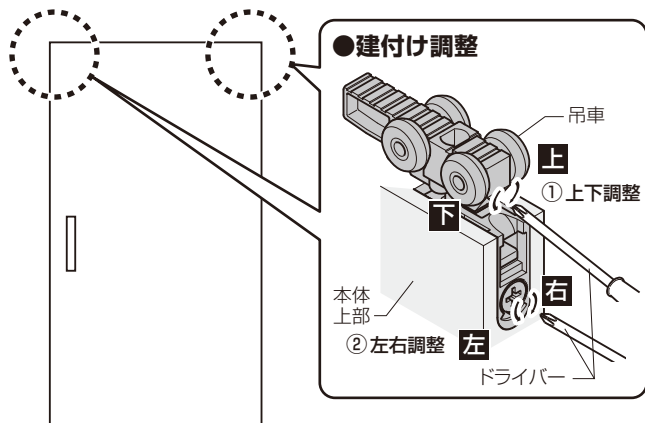
●建付け調整について

- ①上下調整(+4mm、-1mm)

ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。

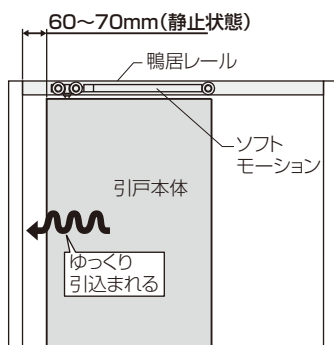
- ②左右調整(±2mm)

ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



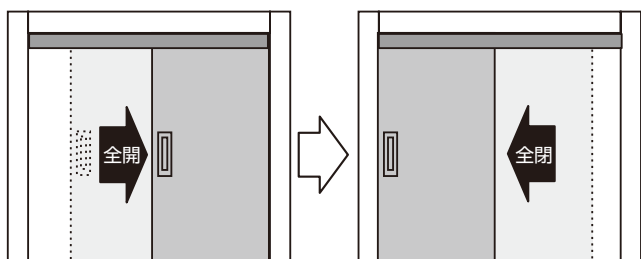
●ソフトモーションについて

- ・静止状態で枠から60~70mmで引き込みされます。
- ・開閉時は、本体重量、速度によって作動開始位置は変わります。減速して引き込まれたら正常です。



●ソフトモーションが機能しない場合(自動復帰)

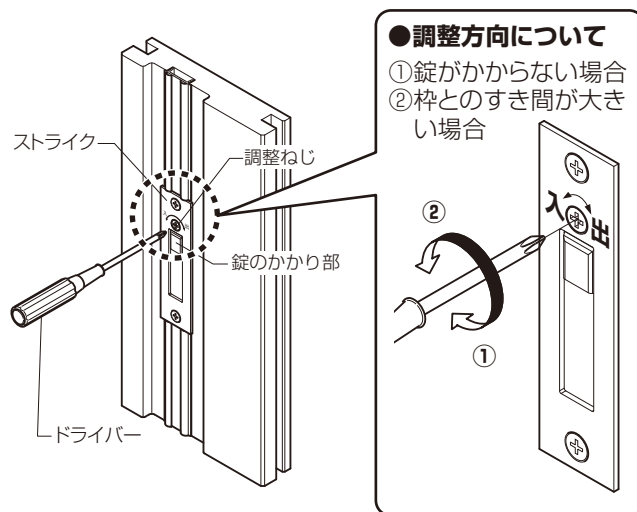
- ①本体を全開してください。
 - ②本体を全閉してください。
 - ③復帰するまで数回全開、全閉する操作をしてください。
- ※上記で復帰しない場合は、部品破損の可能性があります。



19 枠側の調整について

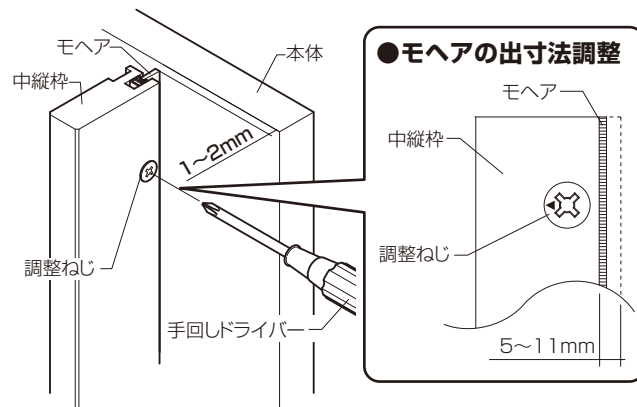
●引戸錠のかかり調整

- ①錠がかからない場合、右に回してください。
- ②枠とのすき間が大きい場合、左に回してください。



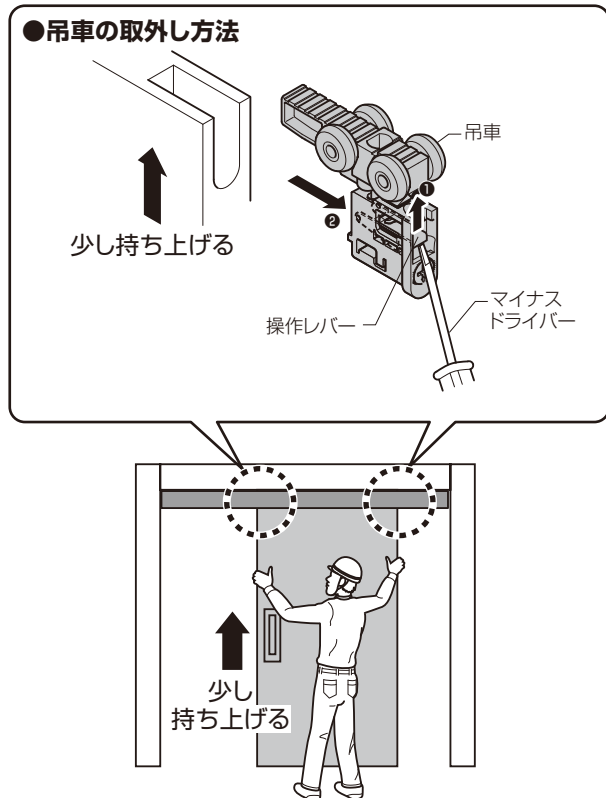
●中縦枠のモヘア出寸法調整(5mm⇔11mm)

- ・3ヶ所の調整ねじを回すことで、モヘアの出寸法を調整することができます。
- ・本体の開閉が重くなるので、1~2mmのクリアランスを持たせてください。



20 本体の取外し方法

- ① 本体を少し持ち上げて吊車に荷重をかからないようにしてください。
- ② 操作レバーをマイナスドライバーなどで押上げながら引き抜いてください。



21 困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



●スマホ画面

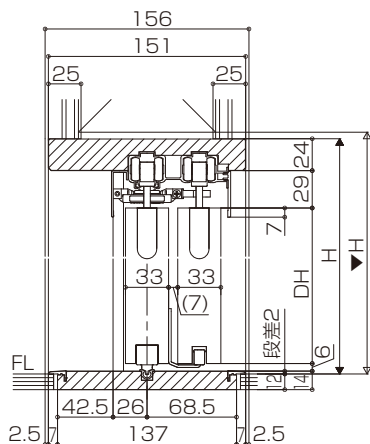
○お客さまサポート

⚠	安全にお使いいただくために	+
?	よくあるお問い合わせ	+
✓	お手入れ・お掃除	+
📖	取扱説明	+
🔧	調整方法	+
!	故障かなと思ったら	+
✂	施工説明	+
🛒	部品購入	>
☎	お問い合わせ	+
🔧	修理のご依頼	>
👤	リクシルオーナーズクラブへのご登録	>

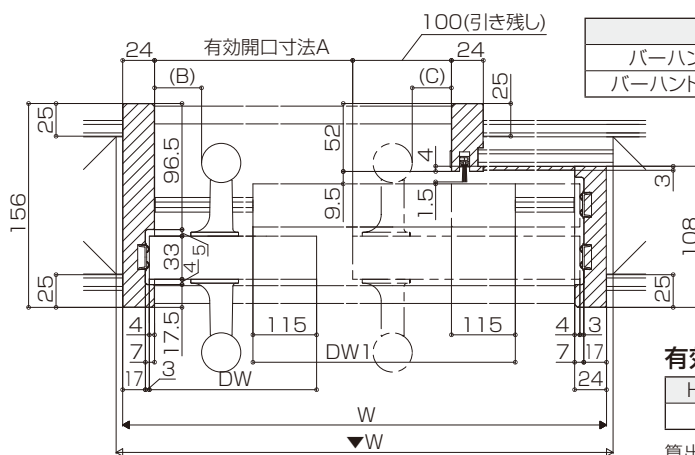
■納まり図

■上吊連動引戸 片引2枚 ノンケーシングタイプ

●縦断面図



●横断面図



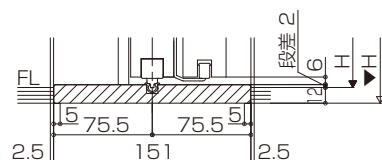
	B	C
バーハンドル	36	30
バーハンドルD型	33	37

有効開口寸法

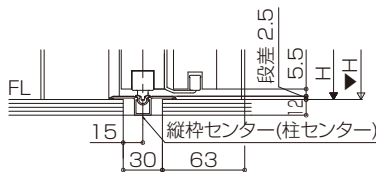
H呼称(枠外寸法)	A寸法
W16(1644)	922

算出式: $A寸法 = (2W - 522) / 3$
 $DW = (W + 390) / 3$
 $DW1 = (W + 90) / 3$

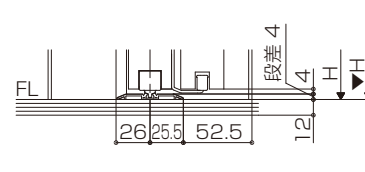
※この図は両側バーハンドルの例です。



●ツバなし薄敷居使用



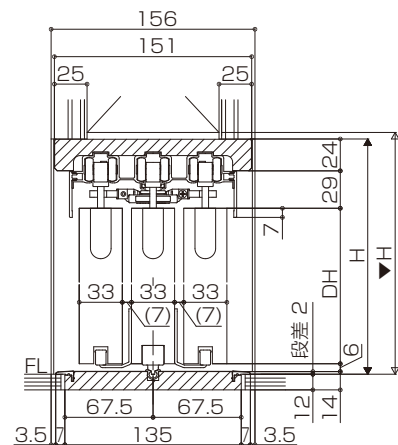
●埋込敷居使用



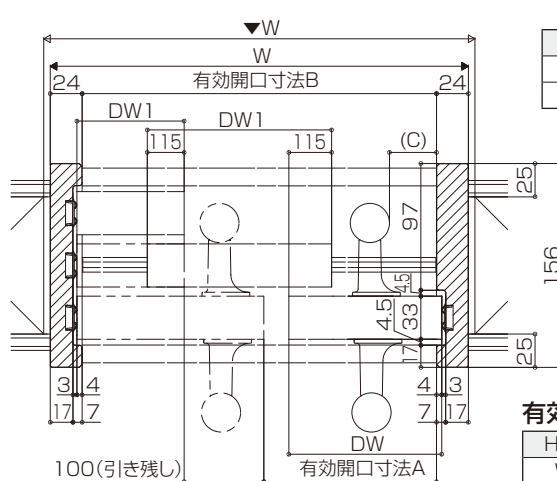
●フラット下レール使用

■上吊連動引戸 3枚引戸 ノンケーシングタイプ

●縦断面図



●横断面図



	C
バーハンドル	36
バーハンドルD型	33

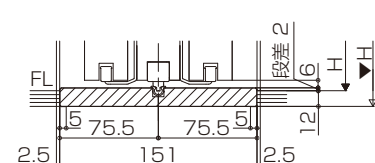
※枠の見込み寸法が変わっても、
敷居の位置は縦枠センターより
共通の位置となります。

有効開口寸法

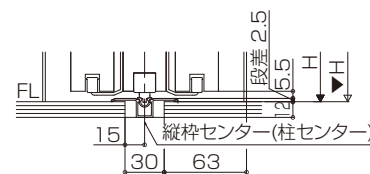
H呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	922	1596

算出式: $A寸法 = (2W - 522) / 3$
 $B寸法 = W - 48$
 $DW = (W + 390) / 3$
 $DW1 = (W + 90) / 3$

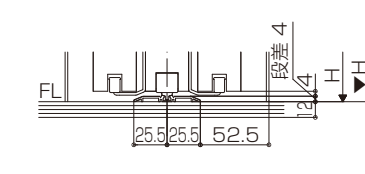
※この図は両側バーハンドルの
例です。



●ツバなし薄敷居使用

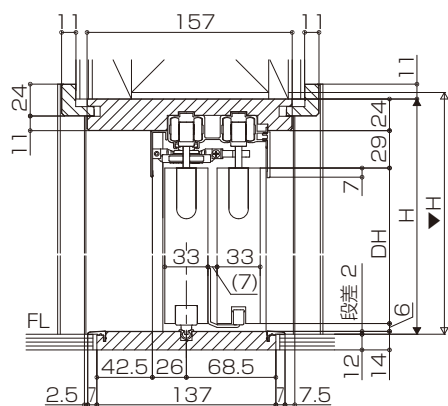


●埋込敷居使用

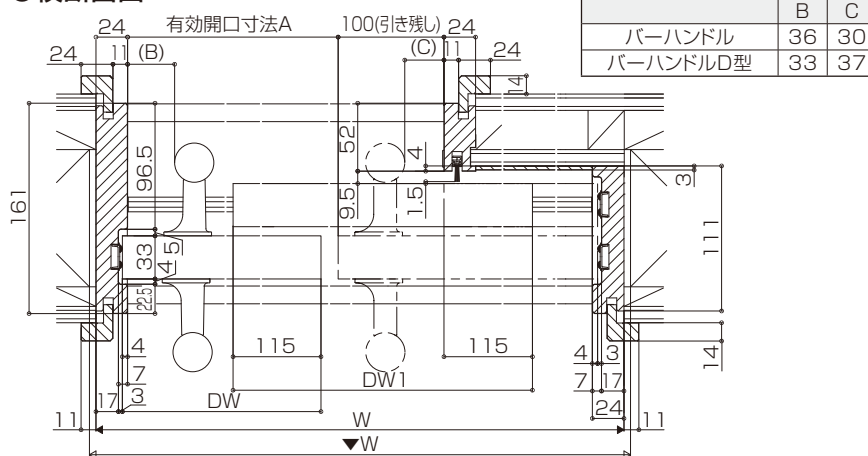


●フラット下レール使用

●縦断面図



●横断面図



	B	C
バーハンドル	36	30
バーハンドルD型	33	37

※この図は両側バーハンドルの例です。

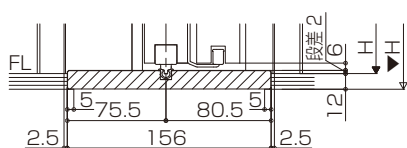
有効開口寸法

H呼称(棒外寸法)	A寸法
W16(1644)	922

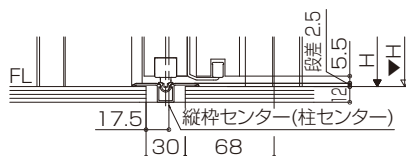
算出式：A寸法=(2W-522)/3

$$DW=(W+390)/3$$
$$DW1 = (W + 90) / 3$$

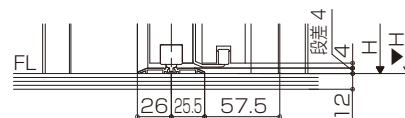
・ツバ付薄敷居使用



・ツバなし薄敷居使用

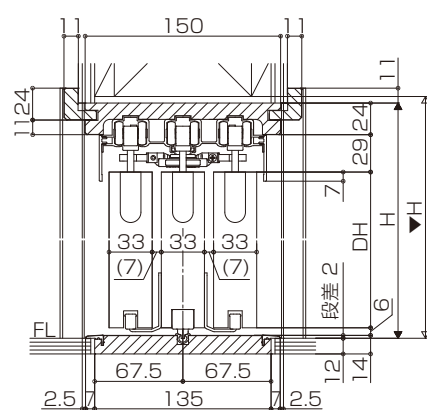


• 埋込敷居使用

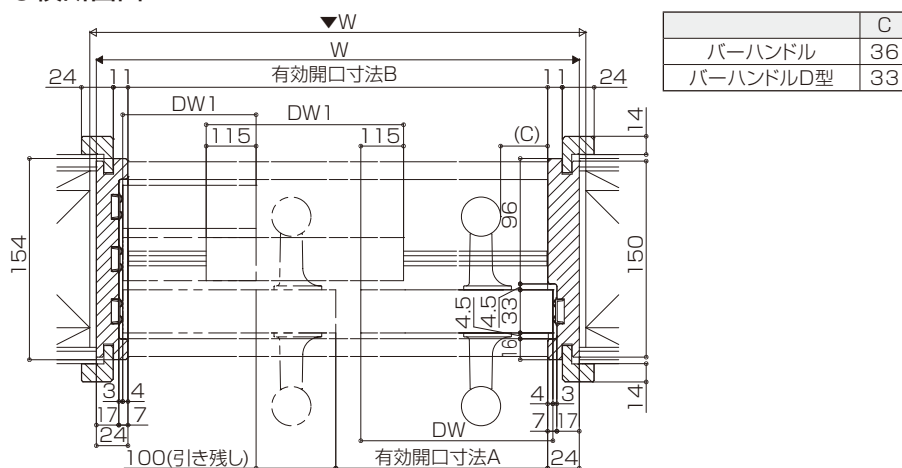


・フラット下レール使用

●縦断面図



●横断面図



	C
バーハンドル	36
バーハンドルD型	33

※この図は両側バーハンドルの例です。

有効開口寸法

H呼称(棒外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	922	1596

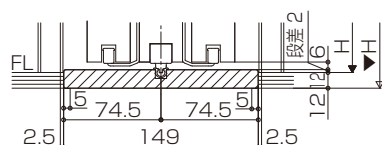
算出式：A寸法=(2W-522)/3

B寸法=W-48

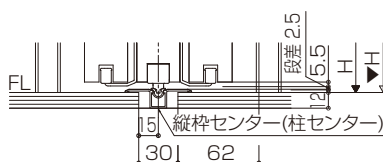
$$DW = (W + 390) / 3$$
$$DW1 = (W + 90) / 3$$

41

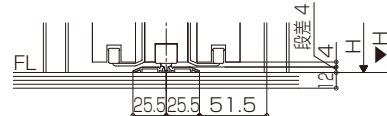
・ツバ付薄敷居使用



・ツバなし薄敷居使用



• 埋込敷居使用



・フラット下レール使用

